

岩橋英遠 × 一木万寿三

日本画家
IWAHASHI EIEN

洋画家
ICHIKI MASUMI

さまよ
林檎園を彷徨った二人の少年の夢は画家になること。



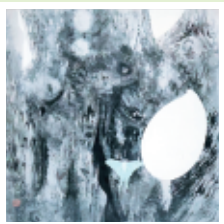
岩橋英遠 アトリエにて(相模原市)



(作品名・制作年不明)



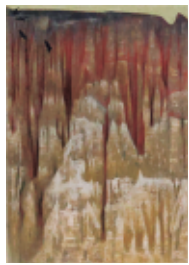
夕空(1995)



樹に羽を休める蝶(制作年不明)



青柿(制作年不明)

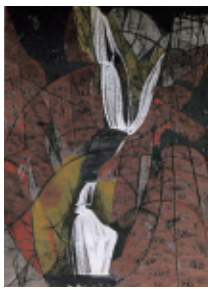


土柱(1973)

日本画と洋画、異なる表現が会
うふたりの画家展です。

ふたりは現在の滝川市江部乙の隣
家で共に育ち、果樹栽培などの農作
業に務めながら、お互いを励ましあっ
て画家への道を歩みました。岩橋英
遠は日本画の革新に挑み、幻想的で
深みのある色彩を放ちつつ、自然や
宇宙、生命の循環を感じさせる作品
を生み出し、文化勲章の栄誉に輝く
など日本を代表する日本画家になり
ました。一木万寿三は誠実かつ静か
な表現で、故郷のりんご園の風景や、
人物と景色を組み合わせた心温まる
平明な油彩を制作し、北海道文化賞
等に表彰されたほか、全道美術協会
の創立に携わるなど北海道の画壇を
支える画家になりました。

ふたりの友情はお互いの芸術を高
め合い、生涯にわたって精神的な絆
で結ばれていました。本展では、こ
の友情の軌跡を辿りながら、りんご
をテーマの軸とし、北海道の自然が
育んだ芸術の源流を探ります。



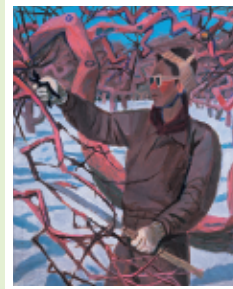
懸帛(1957)



雌阿寒青沼(1970)



一木万寿三 果樹園にて(江部乙町)



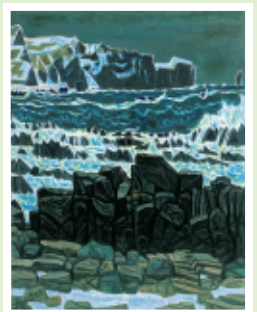
雪上剪定(1953)



果樹園剪定(1943)



蝶と立像(1976)



冬澗(1972)

■講演会 9月13日(日)13時30分～ 参加無料
「生きることは描くこと～林檎園とふたりの画家」
講師 河野 敏昭(当館学芸員) ※事前申込不要
場所 美術自然史館ロビー

■ギャラリー・トーク (※観覧料が必要です)
8月16日(日)、10月4日(日)13時30分～
講師 当館学芸員 ※事前申込不要

滝川市美術自然史館 Takikawa Museum of Art & Natural History

北海道滝川市新町2丁目5番30号 Tel.0125-23-0502

【交通案内】

- 徒歩：JR滝川駅から徒歩20分
 - バス：JR滝川駅前バス乗り場から開発局前停留所で下車、徒歩5分
 - タクシー：JR滝川駅から徒歩5分
- ※駐車場は中央児童センター駐車場をご利用ください。



■表紙作品名

- | | |
|-------|----------------|
| 岩橋英遠 | ①りんご園(制作年不明) |
| | ②苔の洞門(1987) |
| | ③歴史(1940) |
| | ④鳩(1946) |
| 一木万寿三 | ⑤青衣(1938) |
| | ⑥葡萄と子供(1931) |
| | ⑦早春のりんご園(1943) |
| | ⑧秋(1958) |
| | ⑨淀橋附近(1930) |